

令和3年度第1回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. **開催日時** 令和3年7月9日（金） 午前10時00分～12時00分
2. **開催会場** 印西市文化ホール 多目的室
3. **出席者** 粉川一郎委員長、小林宏委員、安倉史典委員、林典子委員、矢野眞理委員、藤澤進委員、奥田信康委員、足立秀一委員、志村はるみ委員、坂本富彦委員（以上10名）
4. **事務局** 岡本市民部長
市民活動推進課 伊藤課長、伊藤課長補佐、富田係長、櫻井、榎田
5. **傍聴者** 1名（定員5名）
6. **会議内容**
 - 1 開会
 - 2 委嘱状交付
 - 3 議題
(1) 委員長及び委員長職務代理者の互選について
(2) 印西市の市民活動支援施策について
(3) 令和3年度印西市企画提案型協働事業実施要領について
(4) その他
 - 4 閉会

7. 会議要旨

3 議題

(1) 委員長及び委員長職務代理者の互選について

- ・推薦により、粉川一郎委員が委員長に選任された。
- ・委員長の指名により志村はるみ委員が職務代理者に選任された。

(2) 印西市市民活動支援センターの活動状況について

(2-1) 令和2年度印西市市民活動支援センター指定管理者事業報告について

《市民活動支援センター報告》

資料1により、令和2年度印西市市民活動支援センター指定管理者事業報告について説明した。

《委員意見》

- ・利用登録団体数というのは支援センターを利用するために登録した団体ということでよいのか。
→はい。NPOと一般の市民活動団体の合計です。
- ・登録団体数が増えると、良い団体とそうでない団体が出てくると思うが、審査はしているのか。
→登録要件に基づき審査している。
- ・この年で16団体増えているがコロナに係る団体か。
→そういうわけではない。

- ・団体登録をするメリットは何か。
- 施設（活動拠点）を無料で提供している。印刷作成を安価で提供している。
- ・各団体の活動の成果をどのように表現しているのか。
- 例年ですと「だんごまつり」で成果発表の場としていた。昨年度は団体紹介冊子の作成や団体パネル展を各公民館等で展示した。
- ・決算書の事業費が予算より多くなっているがその理由は。
- だんごまつりの経費を事業費に加え、紹介冊子などを作成したため。
- ・指定管理料が前年度よりも1.4倍程度になっているが、これは適正なものなのか。
- 指定管理者選定委員会で適正に審査を行い、承認を得たものである。
- ・人件費が改善されたことは良かったと思う。相談業務においてもZ o o mを活用してほしい。
- 検討を進めていく。
- ・コロナ禍の中、各団体はどのような状況にいて考えているか。
- すごく困っていると感じている。しかしながら、何かしなくてはという機運が高まっているという感じもする。

（2-2）令和3年度事業計画について

《市民活動支援センター報告》

資料2により、令和3年度印西市市民活動支援センター指定管理者事業計画について説明した。

《委員意見》

- ・市民活動支援センターの団体支援の中で、子育て分野、環境分野など市役所関係課との連携をどのようにとっているのか。
- 団体からの申し出に応じて、例えば、センター・関係課・団体の三者協議を実施するなどの連携をとっている。
- ・センタースタッフの能力向上が重要だと思うが、どのように考えているか。
- 毎月様々なテーマのスタッフ研修を実施している。また、外部のオンラインの研修にも積極的に参加した。それぞれのスタッフの得意分野からスキルアップに努めている。
- ・印西市の市民活動支援センターは使い勝手がよく、相談もしやすい。さらにNPOの期末の会計に対するサポートが受けられるとありがたい。
- 検討を進めていく。
- ・非営利組織向けのソフトウェア支援をしている組織がある。支援センターからNPOへ情報発信していくとよいと思う。
- ・5年間の指定管理機関で、中期的な計画が立てられるので定期的にニーズ調査していただきたい。
- 検討を進めていく。積極的に周知していく必要があると感じている。
- ・事業報告書の中で、管理運営実績の指標が利用者数、利用団体数のみなので、もう一つか二つ、指標があるとよいと思う。
- 検討を進めていく。
- ・指定管理者制度の中で指定管理者はある程度独自の運営が可能だが、利用者は市民活動支援センターを指定管理者としてではなく印西市として見る。一般的に、「どうせ行政は助けてくれない」というイメージをもたれがちな中で、市民活動支援センターの姿勢が重要になってくると思う。また、新

型コロナの影響でこれまで頑張ってきた人たちの心が折れてしまっている状況にある。そうした人たちへのサポートを指定管理者ならではの柔軟な視点で行っていただきたい。

(3) 令和3年度印西市企画提案型協働事業実施要領について

《事務局説明》

令和2年度は新型コロナウイルス拡大防止のため、公募を中止した。令和3年度についても企画提案型協働事業の公募再開を目指していたが、新型コロナウイルスの感染状況やそれに伴う緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置、ワクチンの接種率等といった状況の中で新型コロナウイルス対策についてどこまで事業計画に織り込むべきなのか、また、その審査はどうやって判断するのかなど、判断が難しい。したがって、新規の公募は見合わせ、継続されている事業については引き続き事業を実施したい旨、説明した。

《委員意見》

- ・新型コロナウイルスの状況が不透明な中、公募の中止はやむをえないと思う。
 - ・感染対策をとった上でできるものがあれば、実施したほうがよいのではいか。
- 今年度はアイデアのたまごを積極的にアピールし、今後の協働事業につながるよう努めていきたい。また公益信託印西市まちづくりファンドは今年度も助成を行っている。
- ・新規の公募の中止はやむをえない。アイデアのたまごの積極的な周知など、市としての市民活動支援の姿勢を示して欲しい。

(4) その他

- ・年間スケジュールについて確認した。
- ・(仮称)印西市地域コミュニティ基本方針の策定について、委員会に諮問したい旨、事務局より説明した。

以上

令和3年7月9日に行われた、印西市市民活動推進委員会の会議録は事実と相違ないので、これを承認する。

令和3年8月20日

会議録署名委員 粉川 一郎